

**授業概要**

幼児教育及び初等教育の指導者として理解しておくべき音楽に関する基礎的な内容について講義する。具体的には、基礎的な楽典事項、オーケストラで使われる楽器及び日本の伝統的な楽器、日本と西洋の音楽史を主なものとし、小テスト及び関係課題を課する。楽譜の理解に関わることとして、リズム打ちや視唱の演習も行う。

**授業計画**

第1回	ガイダンス
第2回	基礎的な楽典 リズム1 単純拍子
第3回	基礎的な楽典 リズム2 複合拍子
第4回	基礎的な楽典 音程 音階
第5回	基礎的な楽典 記号
第6回	小テスト1・まとめ
第7回	オーケストラで使われる楽器 弦楽器
第8回	オーケストラで使われる楽器 管楽器・打楽器
第9回	日本の伝統音楽で使われる楽器
第10回	世界の諸民族の音楽で使われる楽器
第11回	小テスト2・まとめ
第12回	日本音楽の歴史1
第13回	西洋音楽の歴史2 古典派までの流れ
第14回	西洋音楽の歴史3 ロマン派以後の流れ
第15回	日本の伝統芸能に関する課題発表
第16回	筆記試験

**到達目標**

基礎的な楽典の事項を理解し、読譜力をつける。  
オーケストラで使われる楽器、日本の伝統音楽及び世界の諸民族の音楽で使われる楽器を知る。  
日本と西洋の音楽の歴史について概観をつかむ。

**履修上の注意**

受講希望者が多い時は、小免希望者を優先とする。  
遅刻3回で欠席1回として扱う。

**予習・復習**

楽典の内容及び授業内容の復習をしっかりとすること。  
個人課題を責任をもって取り組むこと。

**評価方法**

筆記試験 60%、小テスト・課題発表 30%、提出物・受講態度 10%

**テキスト**

必要な資料を随時配布